

令和7年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

		施設番号		4
部	総合政策部	課	文化振興課	

1. 指定概要

施設概要	名称	近江八幡市立資料館			建設年	郷土資料館：明治１９年（大規模修繕　平成２９年）、歴史民俗資料館：江戸時代末期				
	所在地	近江八幡市新町二丁目２番地			利用対象	全市地域				
	設置目的	郷土の文化財を収集し、保存し、かつ、展示する等その活用を図ることにより、郷土文化の向上並びに教育及び学術の発展に資するため。								
	規模	敷地面積：郷土資料館　1,259.46㎡　歴史民俗資料館　436.03㎡　　延べ床面積：郷土資料館　649.11㎡　歴史民俗資料館　298.16㎡　　各地上2階								
	指定管理 開始年度	平成２５年								
指定管理者	名称	株式会社パソナジョイナス（令和５年３月３１日以前の社名は　株式会社かんでんジョイナス）								
	所在地	大阪府大阪市北区梅田三丁目３番１０号								
指定管理業務の内容		１．資料館の施設又は設備の使用の許可等に関する業務 ２．資料館の維持管理に関する業務 ３．資料館の利用に関する料金の徴収等に関する業務 ４．資料館の設置目的の達成に資する事業に関する業務。ただし、資料の収集、保存、展示及び調査研究に関するものを除く。 ５．資料館の利用者の利便性を向上させるために必要な業務 ６．その他資料館の運営に関し近江八幡市が必要と認める業務								
指定期間		令和４年４月１日　～　令和９年３月３１日　（５年間）								
指定管理料		令和５年度：２４，２００千円 （旧西川家住宅・かわらミュージアムとの合		令和６年度：２４，４００千円 （旧西川家住宅・かわらミュージアムとの合		令和７年度：２４，４００千円 （旧西川家住宅・かわらミュージアムとの合		令和８年度：２４，４００千円（見込） （旧西川家住宅・かわらミュージアムとの合		
利用料金制		採用している			選定方式		公募		応募者数	１

2. 施設の設置目的の達成に関する取り組み【有効性】

		目標と具体的な取り組み(計画)	令和7年度実績	所管課による検証
施設設置の目的達成状況	施設の維持管理業務	[目標] 安全で安心して利用できる施設の維持管理を行う。 [具体的な取り組み] ①施設の維持管理業務 - 施設の日常点検と保守管理 - 毎日の清掃作業 - 施設内の樹木の剪定及び除草等 - 設備の定期的な点検 ②備品の管理業務 - 施設の備品の日常管理	①施設の維持管理業務 - 施設の日常点検と保守管理(随時) - 定期的な施設内外の清掃業務、年2回のワックス掛け - 敷地内の樹木の剪定及び除草作業の実施(随時) - 法律で定められた設備の定期点検を専門業者に委託して実施 - 地元自治会が実施している背割り排水路の定期清掃 ※不具合時には修理修繕を実施 ②設備の管理業務 - 施設の備品の日常管理(随時) ・歴史的建造物、重要文化財を後世に残し伝えていくためにも、施設や設備の維持管理については、市の了解を得た上でそれぞれの専門業者に委託した。 ・コスト意識を持ち、複数の業者との相見積を実施するとともに、市内業者の優先的な採用にも配慮した。 ・建設設備の老朽化が激しく、来館者の安全を確保するため丁寧な管理や慎重な修理、作業を心掛けるとともに、重要伝統的建造物群保存地区内ということを鑑み、市担当者と情報共有した維持管理に努めた。	(よかったと評価できる事項) 継続して丁寧な施設管理を行われています。特に敷地内樹木の植栽について、剪定を継続して美観を維持している点を評価します。 (改善を要した事項と対応) 特になし。 (課題) 特になし。
	(施設サービスの運営向上策)	[来館者満足度の向上] - ホスピタリティ溢れるおもてなし対応の徹底 [情報発信、提供の強化] - 職員による簡易解説の実施 - 映像による近江八幡市の紹介。 [外国人観光客対応の強化] - クラウド通訳サービス(英・中・韓)の導入。 - 受付案内、注意事項などの多言語化 - 展示品の英文説明 [利用者の声の反映について] - 来館者への積極的なコミュニケーション、アンケートの実施(常設・企画展)、団体・旅行会社(担当・ガイド)へのヒアリング - 定例ミーティングの実施	- 個人情報保護教育研修2025.10 WEBにて各自が期間内に受講を完了した。 - 朝礼終礼時における日々の報告、共有 - 展示品の英文説明 - 学校、予約団体への職員による案内、他施設の紹介の実施 - 来館者への積極的なコミュニケーション - 窓口にて、周辺施設や市内案内などのサービス - 団体、旅行会社来館時に担当、ガイドへの簡易なヒアリングにて情報収集 - 定例ミーティングの実施	(よかったと評価できる事項) 例年通りサービスのレベルを継続しています。特に窓口での観光客への案内は、来館者以外にも対応し、観光拠点施設としての役割を担っています。 (改善を要した事項と対応) 特になし。 (課題) 特になし。
	(提案内容の他の業務自主事業)	- 職員のアイデアや市民と作り上げていく事業やイベントを開催。 - 音楽イベント 雛、端午人形展示 - 季節や話題に合わせた展示会、地域サークル展示 - 地域イベントへの協力(八幡堀まつり)	- 昨年度まで行っていた大正琴ライブに代わり、幅広く演奏者を誘致して音楽イベントを開催した - 雛人形、五月人形の展示 - 令和4年7月から引き続き自動販売機を設置 - 敷地内のカフェ(aman)を引き続き継続 - 八幡堀祭り、まちめぐりコンサートといった地域のイベント時に合わせて、出店を誘致し、新町通りから販売 - 資料館、旧西川家住宅、かわらミュージアム3館連携で同一企画展を行い、八幡の町なみ探索を促した	(よかったと評価できる事項) 自主事業を継続し、定着させている点を評価します。 (改善を要した事項と対応) 特になし。 (課題) 新たなアイデアを活かした事業を企画されたい。

施設設置の目的達成状況	(施設利用促進策)	[営業強化] ・共通チケットの販売 ・旅行雑誌、ネットへの掲載 ・バス会社・鉄道会社への営業 [近隣施設、商店、関係機関との連携強化] ・観光物産協会とのさらなる連携と情報共有 ・八幡堀周辺飲食店、物販店等との連携、協力 [学校団体の受入促進] ・学校団体向け見学プランの開発、パンフレットの作成 [SNSの活用] ・Instagramやツイッター等のSNSでの画像発信力の強化 ・景観の良さを存分に活かし、写真撮影スポットとしてPR強化 [コワーキングスペースの有効活用] ・地域サークル活動の拠点や作品展示の場としての利用促進	・資料館、旧西川家住宅、かわらミュージアム各館での共通券販売の推奨 ・じゃらんnet予約サービスの活用（資料館、旧西川家住宅、かわらミュージアム（+体験工房）の共通券販売 近江八幡市立資料館（郷土資料館、歴史民俗資料館） 令和7年度入館者数：14,207人（研修室・コワーキング除く） ホームページの更新、SNSのX（旧Twitter）の日常的な更新 コワーキングスペースを貸出し、地域の活動の拠点の場づくりに努めた	（よかったと評価できる事項） HPや、SNSアカウントでの情報発信を継続し、充実した内容であることを評価します。 （改善を要した事項と対応） 特になし。 （課題） 現在連携が少ない周辺施設との情報共有を進めてください。

3. 効率性の向上に関する取り組み【効率性】

	前年度実績	令和7年度実績	(よかったと評価できる事項)
収支状況	資料館・旧西川家住宅・かわらミュージアム（合算）	資料館・旧西川家住宅・かわらミュージアム（合算）	物価、人件費高騰の中、限られた指定管理料の中で運営されたことを評価します。 （改善を要した事項と対応） 自主事業については下記課題のとおりです。
	収入合計 38,381,948円	収入合計 40,550,372円	
	入館料収入 10,924,960円	入館料収入 12,637,160円	
	指定管理料 24,400,000円	指定管理料 24,400,000円	
	その他収入 2,701,350円	その他収入 3,088,000円	
	自主事業収入 358,638円	自主事業収入 425,212円	
	支出合計 38,757,794円	支出合計 40,820,137円	（課題） 自主事業費が赤字となっています。参加費徴収などを検討のうえ、収入確保に努めてください。
	人件費等 23,738,237円	人件費等 25,580,962円	
	事務費 6,632,975円	事務費 5,958,308円	
	管理費 8,080,514円	管理費 8,788,300円	
	自主事業費 305,868円	自主事業費 492,567円	

4. 利用者の満足度調査等【有効性】

実施内容・時期	企画展開催期間にあわせた来館者アンケート
評価頂いている内容	地元に着した内容であること、職員の簡易解説が分かりやすく面白いこと
苦情・意見等	特に苦情はなかったが、利用者に丁寧な説明を要するケースが多々ある。引き続き丁寧な対応を心掛け、来館者対応を行っていく。

5. 指定管理業務に関して、指定管理者から市への要望

収支状況に直結する部分として、年々物価高・人件費高騰となっている為、収支を圧迫している。イベント一つ実施するにも高騰している世の中の為、指定管理料の見直し等を行って頂けるとせっかくのこの建物の魅力をより広く・大きく伝える事も出来ると考えてます。ご検討の程よろしくお願いいたします。
--

6. 指定管理者の自己評価コメント

施設で働くスタッフの離職率も低く、スタッフ一丸となって運営する事が出来た。昨年度に引き続き、SNS(Twitter・Instagram)や社内イントラネットを使っている継続的・積極的な発信を行っており、社内外に広く周知が来ている。定例的なお茶会や音楽隊・コスプレイベント等近隣施設との協力しながら、場合によっては主となってイベントを実施する事でグループ一丸となって近江八幡市の観光拠点となれるよう、引き続き取り組んでいきたい。

7. 所属の総括コメント

観光客が立ち寄る場所として、来館者以外にも丁寧で分かりやすい案内を実施され、町に対する好気的なイメージの一端を担っていただいています。また、地域のイベントや行事に積極的に参画し、町を盛り上げています。今後も観光客のみならず地域交流の場として、愛される場所であるような取り組みを継続してください。外部に向けては、HPの更新やSNSアカウントを利用した最新の情報発信等、積極的に新しいPR事業の取り組みを実施されました。今後も観光拠点かつ歴史文化の拠点であることの発信を行い、入館者増加の取り組みを推進してください。
--